

横浜みどりアップ計画[2019-2023]

4 か年（2019(令和元)～2022(令和4)年度）の実績と

「これからの緑の取組[2024-2028]（原案）」の報告について

1 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 4 か年（2019(令和元)～2022(令和4)年度）の実績について

横浜みどりアップ計画につきましては、平成 21 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、推進しています。令和元年度からは、5 か年計画に取り組んでおり、令和 5 年度はその最終年度となります。

このたび、令和 4 年度までの 4 か年を振り返り、取組の成果をまとめたリーフレットを作成しましたのでご報告いたします。

【配布資料】

- ・横浜みどりアップ計画[2019-2023] 4 か年の実績概要リーフレット
- ・「横浜みどり税」の説明チラシ
- ・【参考資料】 4 か年[2019(令和元)～2022(令和4)年度]の区別実績

2 「これからの緑の取組[2024-2028]（原案）」について

令和 6 年度以降、重点的に取り組む「これからの緑の取組[2024-2028]」について検討を進めています。昨年 12 月から本年 1 月にかけて、「これからの緑の取組[2024-2028]」の素案に対する市民意見募集を実施し、その結果を踏まえ、原案をまとめましたのでご報告いたします。

なお、令和 5 年度は、横浜みどり税の最終年度でもあることから、令和 6 年度以降の横浜みどり税を含む財源のあり方について、「これからの緑の取組[2024-2028]（原案）」をもとに、今後検討していきます。

【配布資料】

- ・これからの緑の取組[2024-2028]（原案）概要版

【問合せ】

- 横浜みどりアップ計画の実績に関すること
環境創造局みどりアップ推進課 TEL: 671-2712 FAX: 224-6627
- これからの緑の取組（原案）に関すること
環境創造局政策課 TEL: 671-4214 FAX: 550-4093
- 横浜みどり税に関すること
財政局税務課 TEL: 671-2253 FAX: 641-2775
税制課 TEL: 671-2252 FAX: 641-2775

効果的な広報の展開

緑に関するイベントへの出展や、「広報よこはま」等への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画の取組を知っていただけるよう広報を展開しています。



マスコットキャラクターを活用した広報



広報よこはま 令和4年10月号

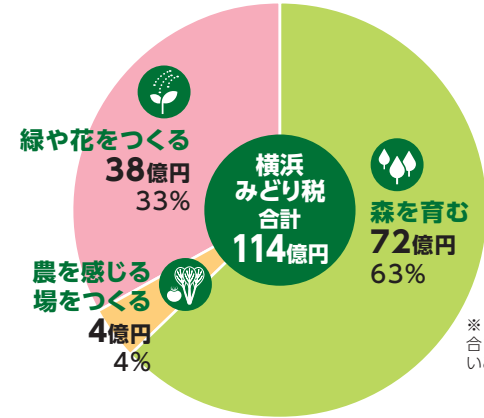
計画の事業費と横浜みどり税（4か年の累計）

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2019(令和元)年度からの4か年の事業費365億円のうち、横浜みどり税を114億円充当し、市内の樹林地の買取り・維持管理等をはじめとした緑の保全・創出、育成に取り組ましました。

横浜みどり税の課税方式

- 【個人】市民税の均等割に年間900円を上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く
- 【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

計画の柱ごと の活用額



みどりアップを楽しもう！ イベント・体験のスポットをご紹介します

詳しくはHPをご覧ください



ほかにも、18区役所で様々な取組を行っています



森にふれる

散策など森にふれるイベントやスポット
ウェルカムセンター（5か所）
市民の森／ふれあいの樹林
市民の森ガイドマップ／森づくり体験会

トンボ塾 / 戸塚区

農にふれる

農畜産物の直売など農にふれるイベントやスポット
収穫体験農園／市民農園
直売所／マルシェ
よこはま産地消サポート店

市内産農畜産物の直売 / 中区

緑や花にふれる

まち歩きなど緑や花にふれるイベントやスポット
花の見どころカレンダー
ガーデンネックレス横浜／里山ガーデンフェスタ／都心臨海部等の緑花

里山ガーデンフェスタ / 旭区

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめているほか、広報誌「YokohamaみどりアップAction」を発行しています。



詳しくはHPをご覧ください



「YokohamaみどりアップAction」

お問合せ 「横浜みどりアップ計画」について
環境創造局政策課 TEL.045-671-4214 FAX.045-550-4093

「横浜みどりアップ計画」の各事業について
環境創造局みどりアップ推進課 TEL.045-671-2712 FAX.045-224-6627

「横浜みどり税」について
【個人市民税】各区役所税務課または 財政局税務課 TEL.045-671-2253 FAX.045-641-2775
【法人市民税】 財政局法人課税課 TEL.045-671-4481 FAX.045-210-0481

実績報告書はHPをご覧ください
区ごとの実績もご覧いただけます

横浜みどりアップ計画



横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

4か年 の実績 概要 [2019(令和元)～2022(令和4)年度の実績]



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を進めています。このリーフレットは、2019(令和元)～2022(令和4)年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。

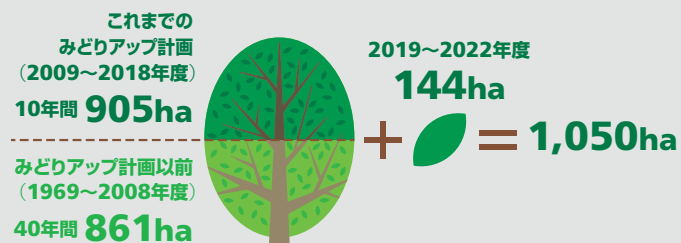


計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全の進展

4か年で144haの樹林地を新たに緑地保全制度により指定しました。



- ▶ 緑地保全制度による新規指定 **144.8ha**
- ▶ 市による買取り **67.0ha**



富岡東三丁目特別緑地保全地区 / 金沢区

保全した樹林地の良好な維持管理や安全の確保を市民協働で推進

市が管理する樹林地の安全を確保しながら、緑の機能が発揮されるような森づくりを進めました。

- ▶ 森の維持管理 **樹林地636か所、公園150か所**
- ▶ 維持管理の助成 **525件**

市民が森に親しむための取組の展開

市民が気軽に森の中に入り、森に親しむことができるように、市民の森などの整備を進めました。

- ▶ 保全した樹林地の整備 **312か所**



整備した園路 今井・境木市民の森 / 保土ケ谷区



整備した柵など 東寺尾ふれあいの樹林 / 鶴見区



森づくり体験会 池辺市民の森 / 都筑区



土地所有者による維持管理への支援 作業前後 / 戸塚区



計画の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な農景観の保全の推進

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の植栽等により良好な農景観を維持・形成しました。

- ▶ 水田保全面積 **111.9ha**



保全された水田 / 栄区



農地縁辺部への植栽 / 都筑区

農とふれあう場や機会の増加

気軽に農体験ができる収穫体験農園や、自分で考え自由に耕作できる農園付公園など、市民ニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。

- ▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 **17.5ha**



収穫体験農園の開設 / 泉区



市民農業大学講座 / 保土ケ谷区

地産地消の拡大

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等の支援を行ったほか、野菜を購入できる自動販売機の設置などを支援しました。

- ▶ 直売所・青空市等の支援 **196件**



みなとみらい農家朝市 / 西区



杉田野菜直売所 / 磯子区



計画の柱3

市民が実感できる緑や花をつくる

市民が実感できる緑と花の空間づくりの推進

公共施設や公園、保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出しました。

- ▶ 公共施設・公有地での緑の創出 **34か所**
- ▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 **168か所**



中本牧コミュニティハウス敷地内 こどもの遊び場 / 中区



六角橋四丁目公園 / 神奈川区

緑や花による街の賑わいづくりの推進

多くの市民が集まる都心臨海部の公共空間などで、緑や花による空間演出を集中的に展開し、街の魅力の向上、賑わいづくりを進めています。

- ▶ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理 **58か所**



新横浜駅周辺 / 港北区



日本大通り / 中区

全区での市民や企業との協働による緑と花の取組の展開

地域緑のまちづくりで、その地区ならではの緑のまちづくりを推進しました。オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。

- ▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 **18区で推進**



ひまわり栽培交流 / 港南区



オープンガーデン / 瀬谷区



計画の柱3

子どもを育むみどりの取組



森に関わるきっかけや環境を学ぶ機会として、市内大学と連携した「よこはま森の楽校」や、市内7館の図書館と連携した「森の中のプレイパーク」などのイベントを開催しました。

参加者の声

森を探検し、ふしぎなことをたくさん調べることができて、いい経験になったと思う。



よこはま森の楽校 東洋英和女学院大学 / 緑区



森の中のプレイパーク 南図書館 / 南区



横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施する農体験教室等のイベントの開催を支援しました。

参加者の声

横浜でもこういった農体験ができる場所があるのはうれしい。



田植え体験 田奈恵みの里 / 青葉区



じゃがいも掘り体験 舞岡ふるさと村 / 戸塚区



保育園・幼稚園・小中学校において園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進しました。

参加者の声

学校にビオトープを導入することで、生き物に興味・関心を持つ生徒が増えました。



芝生化した園庭 幼稚園 / 旭区



ビオトープの整備 保育園 / 港北区



横浜みどり税

「横浜みどり税」は
「横浜みどりアップ計画」を進めていくために
ご負担いただいています。

緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題です。また、緑は一度失われると取り戻すことが困難です。

横浜市では、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の重要な財源の一部として、平成21年度から市民の皆様にご負担いただいています。

いただいた「横浜みどり税」は、樹林地・農地の確実な担保、身近な緑化の推進などに活用しています。

横浜みどり税の
税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和5年度までです。

横浜みどり税の
使いみち

- 1 樹林地・農地の確実な担保
- 2 身近な緑化の推進
- 3 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- 4 ボランティアなど市民参画の促進につながる事業



横浜みどりアップ **葉っぴー**

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



計画の柱1

市民とともに



次世代につなぐ**森**を育む

5か年の主な取組

- 300haの樹林地を新規指定
- 指定した樹林地における維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施



保全した市民の森

計画の柱2

市民が身近に



農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田の継続的な保全を支援
- 様々な農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
- 市民や企業と連携した地産地消の推進



保全した水田

計画の柱3

市民が実感できる



緑や**花**をつくる

5か年の主な取組

- 地域で愛されている並木を再生
- 地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- 緑や花による魅力ある空間づくりを推進



魅力ある空間づくり

この3つの計画の柱と合わせ、効果的な広報の展開に取り組みます



森林環境税（国税）と横浜みどり税



国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の推進を図るほか、今後本格化する学校建替事業の財源として活用していきます。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、目的と使いみちが異なります。



● 森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

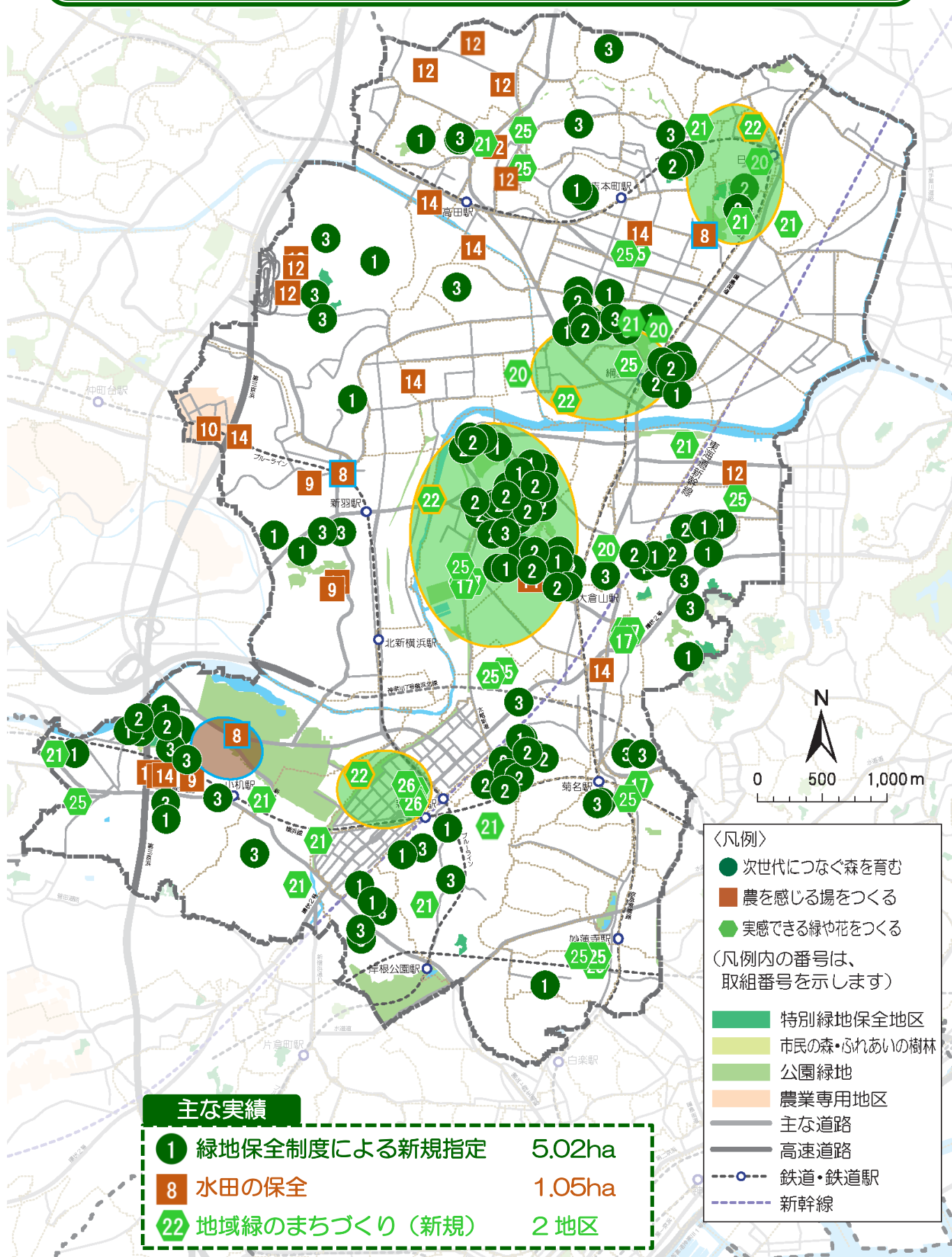
趣旨(目的)	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和 6 年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和 6 年度までは、地方公共団体金融機構の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

- 「横浜みどり税」について
 - ▶ 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」について
 - ▶ 環境創造局政策課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093
- 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」の各事業について
 - ▶ 環境創造局みどりアップ推進課 電話：045-671-2712 FAX：045-224-6627

港北区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 5.02ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 0.6ha 大倉山特別緑地保全地区（指定拡大）、綱島特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2020年度 0.004ha 綱島市民の森（指定拡大）

2021年度 0.02ha 熊野神社市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.2ha 大倉山六丁目、岸根町、小机町、師岡町

2020年度 1.2ha 小机町、篠原町

2022年度 2.0ha 岸根町、小机町、篠原町、綱島台、仲手原二丁目、大豆戸町、師岡町

・源流の森保存地区

2019年度 0.1ha 新吉田町

2020年度 0.3ha 新羽町（2か所）

2022年度 0.1ha 新吉田町

・その他

2021年度 0.5ha 熊野神社市民の森

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 熊野神社特別緑地保全地区、小机城址特別緑地保全地区

2021年度 1地区 大倉山特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 綱島市民の森

・公園樹林部

2019年度 1地区 高田西公園

○保全した樹林地の整備 17か所

2019年度 4か所 大曽根台特別緑地保全地区、綱島市民の森、綱島東二丁目緑地、大豆戸緑地

2020年度 4か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、小机城址市民の森、綱島東二丁目緑地

2021年度 4か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森

2022年度 5か所 日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森（4か所）

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 52 か所

・維持管理（樹林地）

2019年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2020年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2021年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2022年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 57 件

2019年度	11 件	菊名五丁目、岸根町（2件）、小机町（2件）、下田町三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町、大豆戸町、師岡町
2020年度	14 件	大倉山二丁目、岸根町（3件）、小机町、篠原町、新吉田町（4件）、鳥山町、日吉本町六丁目、箕輪町三丁目（2件）
2021年度	14 件	大倉山二丁目、菊名五丁目、小机町、新吉田町（8件）、新吉田東一丁目、高田西三丁目、師岡町
2022年度	18 件	岸根町（3件）、小机町（4件）、篠原町、下田町三丁目、新吉田町（3件）、高田西三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町（2件）、師岡町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 1.05ha

2019年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2020年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2021年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2022年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目

5 各区の実績
港北区

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 3件

2019年度	1件	新羽町
2021年度	1件	小机町
2022年度	1件	新羽町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 11.0ha

2019年度	10.9ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2020年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2021年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2022年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

・農地縁辺部への植栽 4件

2019年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2020年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2021年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2022年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.75ha

2020年度	0.32ha	新羽町（3か所）
2021年度	0.33ha	新羽町（2か所）、日吉本町六丁目
2022年度	0.10ha	新羽町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.69ha

・収穫体験農園

2019年度	0.03ha	新吉田町
2020年度	0.11ha	新吉田町（2件）
2022年度	0.14ha	高田町

・市民農園

2019年度	0.17ha	高田町、樽町三丁目
2020年度	0.16ha	高田町、高田東三丁目
2022年度	0.08ha	高田東三丁目

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 11 件

・直売所・加工所

2020 年度	5 件	大倉山三丁目、新吉田町、新吉田東八丁目、新羽町（2 件）
2022 年度	1 件	新吉田東三丁目

・青空市・マルシェ等

2019 年度	1 件	JA小机農産物直売所
---------	-----	------------

2020 年度	1 件	JA小机農産物直売所
---------	-----	------------

2021 年度	1 件	JA 小机農産物直売所
---------	-----	-------------

2022 年度	2 件	日吉朝市の会、港北支店 朝市
---------	-----	----------------

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2 か所

2020 年度	1 か所	菊名コミュニティハウス
---------	------	-------------

2021 年度	1 か所	港北区庁舎
---------	------	-------

○緑の維持管理 7 か所

2019 年度	2 か所	港北区庁舎、港北土木事務所
---------	------	---------------

2020 年度	2 か所	港北区庁舎、港北土木事務所
---------	------	---------------

2021 年度	1 か所	港北土木事務所
---------	------	---------

2022 年度	2 か所	港北区庁舎、港北土木事務所
---------	------	---------------

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2019 年度	低木 450 本
---------	----------

2020 年度	高木 3 本、低木 50 本
---------	----------------

2021 年度	低木 735 本
---------	----------

○良好な維持管理

2019 年度	環状2号線（鳥山町～大豆戸町）、環状2号線（大豆戸町～師岡町） ほか 計752本
---------	---

2020 年度	環状2号線（師岡町～鳥山町）、宮内新横浜線ほか 計796本
---------	-------------------------------

2021 年度	太尾新道、早渕川左岸（高田西）ほか 計992本
---------	-------------------------

2022 年度	環状2号線（大豆戸町～師岡町）、宮内新横浜線ほか 計492本
---------	--------------------------------

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 4 件

2019 年度	2 件	大曽根一丁目、日吉本町一丁目
---------	-----	----------------

2022 年度	2 件	綱島上町、綱島台
---------	-----	----------

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度	8本	小机町(2本)、樽町四丁目、烏山町(3本)、箕輪町一丁目(2本)
2021年度	7本	小机町、篠原町、下田町三丁目、高田町(2本)、烏山町、箕輪町三丁目
2022年度	2本	篠原町、綱島台

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

・新規

2019年度	1地区	綱島西地区
2020年度	1地区	日吉地区

・継続

2019年度	2地区	大倉山地区、新横浜二丁目地区
2020年度	3地区	大倉山地区、新横浜二丁目地区、綱島西地区
2021年度	2地区	綱島西地区、日吉地区
2022年度	2地区	綱島西地区、日吉地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	オープンガーデンの開催支援(新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止)、大倉山観梅会
2020年度	オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングマップ制作
2021年度	オープンガーデンの開催支援
2022年度	オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングマップ制作、大倉山観梅会

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布(新吉田第一公園ほか8か所)
2020年度	球根などの配布(市ノ坪公園ほか81か所)
2021年度	花壇づくり講習会(太尾堤緑道)、球根などの配布(市ノ坪公園ほか78か所)
2022年度	球根などの配布(大曽根第三公園ほか80か所)

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,089本

2019年度	454本
2020年度	531本
2021年度	539本
2022年度	565本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 10 箇所

2019 年度 2 箇所 港北保育園、大豆戸小学校

2020 年度 2 箇所 高田東小学校、樽町中学校

2021 年度 2 箇所 港北保育園、大豆戸小学校

2022 年度 4 箇所 菊名保育園、港北保育園、小机幼稚園、南日吉保育園

○緑の維持管理 7 箇所

2019 年度 3 箇所 港北保育園、第二尚花愛児園、高田東小学校

2020 年度 1 箇所 高田東小学校

2021 年度 1 箇所 南日吉保育園

2022 年度 2 箇所 港北保育園、太尾小学校

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 4 箇所

2019 年度 1 箇所 新横浜駅周辺

2020 年度 1 箇所 新横浜駅周辺

2021 年度 1 箇所 新横浜駅周辺

2022 年度 1 箇所 新横浜駅周辺

5 各区の実績
港北区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（綱島台）



2 森の維持管理
（大曽根台特別緑地保全地区）



8 水田の保全
（小机町）



10 農景観を良好に維持する活動
（新羽大熊農業専用地区協議会）



22 地域緑のまちづくり
（綱島西地区）



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
（綱島公園）

事業費

(単位：億円)

	事業費	国費	市債	一般財源
柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	302	60	133	110
柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	34	-	12	23
柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	77	0.5	6	71
効果的な広報の展開	0.8	-	-	0.8
これからの緑の取組[2024-2028] (原案) 総事業費	415	60	150	204

※端数処理により、合計値は一致しないことがあります。

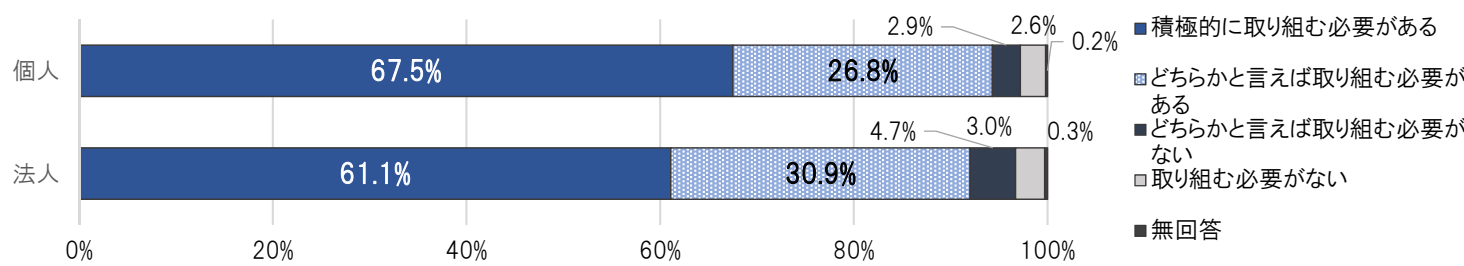
素案に対する市民意見募集の結果(概要)

	アンケート方式	公募型自由記述方式
実施期間	2022 (令和4) 年12月23日 (金) から2023 (令和5) 年1月31日 (火) まで	
実施方法	無作為抽出の個人5,000人、法人5,000社に対し調査票を送付	素案の概要版パンフレットに添付のハガキ、Webフォーム、電子メール、FAX
回収数	個人：1,281人 法人：939社	43通 (意見総数：93件)

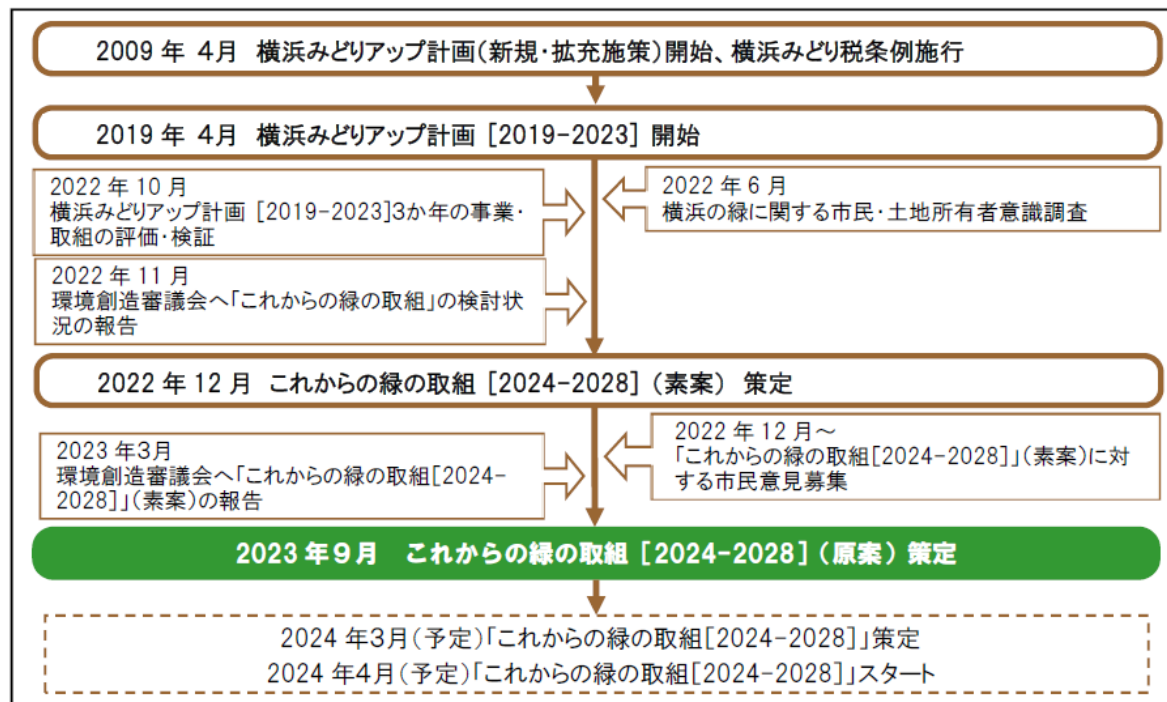
アンケート方式の回答結果

目標・取組について、個人・法人とも、8～9割の方に「積極的に取り組む必要がある」または「どちらか言えば取り組む必要がある」とお答えいただきました。

問1 「これからの緑の取組」では、引き続き、貴重な緑を将来に残すとともに、新たに創出する取組を進めようとしています。このことについてどう思いますか。



これからの緑の取組[2024-2028] 策定の流れ



図：「これからの緑の取組 [2024-2028]」策定の流れ

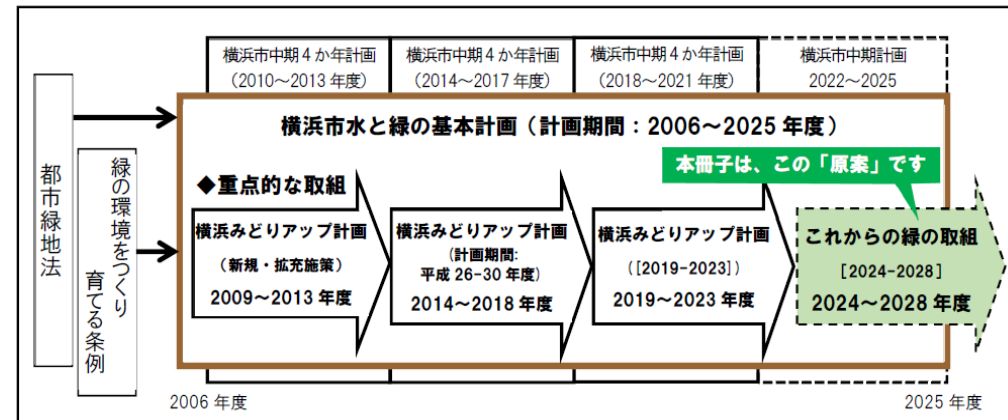
これからの緑の取組[2024-2028] (原案概要版)

横浜みどりアップ計画

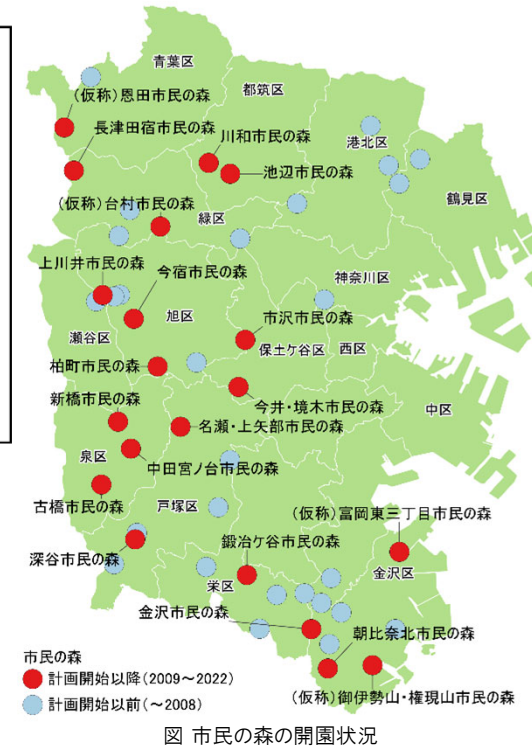
横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に、多くの樹林地や農地などの多様な緑を有しています。これらの緑を次世代に引き継ぐため、「横浜市水と緑の基本計画」の重点的な取組として、2009 (平成21) 年度から「横浜みどり税」を財源の一部に活用した「横浜みどりアップ計画」を推進しています。

これからの緑の取組 [2024-2028]

現行の「横浜みどりアップ計画」は、2023 (令和5) 年度末までの計画ですが、緑の保全や創出は長い時間をかけて継続的に取り組むことが必要です。そこで、これまでの取組の成果などを踏まえ、2024 (令和6) 年度以降に重点的に取り組む「これからの緑の取組[2024-2028]」の原案をとりまとめました。



図：「これからの緑の取組 [2024-2028]」の位置付け



5か年の目標

- 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など
- 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
森の保全管理など緑の多様な機能や役割を發揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など
- 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します
森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

取組のポイント

- 緑地保全制度により指定した民有樹林地の維持管理負担を軽減するための支援を拡充
- 市民が様々なかたちで森に親しみ、楽しむことができる多様な活用を推進
- 都心部から郊外部まで、農とふれあう機会の全市的な展開を推進
- 地域が主体となって取り組む地域緑のまちづくりをはじめ、地域での緑や花の取組を推進

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む <本編P.16-P.23> 約302億円

施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り 約252億円

- (1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

-主な取組内容-

- ・緑地保全制度による新規指定:180ha (市による買取りの想定面積:100ha)
- ・保全した樹林地の整備:推進

事業② 良好な森の育成 約46億円

- (1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進
(2) 指定した樹林地における維持管理の支援

-主な取組内容-

- ・森の維持管理:推進
- ・維持管理の助成:750件

事業③ 森に関わる多様な機会の創出 約5億円

- (1) 森づくりを担う人材の育成
(2) 森づくり活動団体への支援
(3) 森に関わるきっかけづくり
(4) 森の多様な楽しみづくり

-主な取組内容-

- ・森づくり活動団体への支援:175団体
- ・地域における多様な森の利活用:推進



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる <本編P.24-P.34> 約34億円

施策1 農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全 約11億円

- (1) 水田の保全
(2) 特定農業用施設保全契約の締結
(3) 農景観を良好に維持する活動の支援
(4) 多様な主体による農地の利用促進

-主な取組内容-

- ・水田保全面積:115ha
- ・遊休農地の復元支援:3.0ha



事業② 農とふれあう場づくり 約20億円

- (1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
(2) 市民が農を楽しむ支援する取組の推進

-主な取組内容-

- ・様々なニーズに合わせた農園の開設:19.5ha
- ・横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施:450回



施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進 約2億円

- (1) 地産地消にふれる機会の拡大

-主な取組内容-

- ・直売所・青空市等の支援:285件
- ・情報発信・PR:情報誌などの発行35回



事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開 約0.7億円

- (1) 地産地消を広げる人材の育成・支援
(2) 市民や企業等との連携

-主な取組内容-

- ・はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援:150件
- ・市民や企業等との連携:75件

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる <本編P.35-P.43> 約77億円

施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成

事業① まちなかでの緑の創出・育成 約33億円

- (1) シンボリックな緑の創出・育成
(2) 街路樹による良好な景観づくり
(3) 公開性のある緑空間の創出支援
(4) 建築物緑化保全契約の締結
(5) 名木古木の保存

-主な取組内容-

- ・シンボリックな緑の創出:5か所
- ・街路樹による良好な景観づくり:18区で推進



施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進

事業② 緑や花があふれる地域づくり 約12億円

- (1) 地域緑のまちづくり
(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
(3) 人生記念樹の配布

-主な取組内容-

- ・地域緑のまちづくり:35地区
- ・緑や花を身近に感じる各区の取組:18区で推進

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成 約4億円

- (1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

-主な取組内容-

- ・緑の創出:100か所

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成 約27億円

- (1) 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

-主な取組内容-

- ・緑花による魅力づくり:推進



効果的な広報の展開 <本編P.44> 約0.8億円

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者理解されとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を進めていきます。

事業① 市民の理解を広げる広報の展開 約0.8億円

「緑の取組の認知を高め参画につなげていく広報」

- ・ イベント・体験スポットの紹介
- ・ 市民が活用できる制度のご案内
- ・ 美しい横浜の緑や花、アニメーションによる動画配信



森にふれる



農にふれる



緑や花にふれる